

令和
5
年度

豊田市交通安全市民会議

交通安全作品集



豊田市長賞

武田 琉夢
(平和小2年)



豊田警察
署長賞

山内 優大
(猿投台中2年)



豊田市議会
議長賞

三浦 ひかり
(浄水北小4年)

はじめに

豊田市交通安全市民会議では、交通安全作文・交通安全ポスター・交通安全標語を募集しています。作品の制作を通し、作者自身の交通安全意識を高めていただくとともに、作品を公開することにより、多くの方へ交通事故撲滅の願いを届けたいと考えています。

今年もたくさん交通安全作品の応募をいただきました。この「交通安全作品集」に掲載した作品は、交通事故の恐ろしさ、悲しさ、心構えなどをつづった作文、工夫されたデザインや力強くあるいは繊細に描かれたポスター、そして簡潔でわかりやすく交通安全を訴えた標語で、いずれも厳正な審査を経て選ばれた、すばらしい作品ばかりです。この「交通安全作品集」を多くの方にご覧いただき、皆様の交通安全意識の高揚と交通事故防止にお役立ていただければと思います。最後に、交通安全作文・交通安全ポスター・交通安全標語をご応募いただきました多くの皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

豊田市交通安全市民会議

会長 阿 垣 剛 史

目次

交通安全作文の部

《最優秀作品》 6点……………1ページ

①豊田市長賞	高畠 璃心	浄水北小学校	2年
②豊田市議会議長賞	杉本 咲季	前林中学校	2年
③豊田警察署長賞	富澤 郁心	豊田西高等学校	1年
④足助警察署長賞	森岡 煌貴	足助中学校	3年
⑤豊田市教育委員会賞	八木 奏音	石畳小学校	1年
⑥豊田市交通安全市民会議会長賞	若林 斗真	根川小学校	2年

交通安全ポスターの部

《最優秀作品》 6点……………表紙・裏表紙

①豊田市長賞	武田 琉夢	平和小学校	2年
②豊田市議会議長賞	三浦 ひかり	浄水北小学校	4年
③豊田警察署長賞	山内 優大	猿投台中学校	2年
④足助警察署長賞	鈴木 衣知花	足助中学校	3年
⑤豊田市教育委員会賞	吉野 帆華	梅坪小学校	2年
⑥豊田市交通安全市民会議会長賞	岩井 心希	井郷中学校	3年

《優秀作品》 12点……………7ページ

《佳作作品》 9点……………9ページ

交通安全標語の部

《最優秀作品》 1点……………11ページ

①豊田市交通安全市民会議会長賞	奥川 みのり	根川小学校	3年
-----------------	--------	-------	----

《優秀作品》 5点

《佳作作品》 6点

交通安全まんが……………13ページ

※作文中に引用されるデータは、制作者本人の調査によるものです。

※作文中の表現については、原文を基本として掲載しておりますが、誤字、脱字については、事務局で修正させていただいております。

『お先にどうぞ』

浄水北小学校 2年 高 畠 璃 心

わたしのつつろには、おっだんぼどうが二つあります。まい朝、おとっさん、おかあさん、地いきの方、先生たちが見まもりをしてくれています。みんな黄色いはたをもつて、あぶなくないように、おっだんぼどうに立ってくれています。みんなが、わたしたちの見まもりをしてくれているので、まい朝あんぜん学校に行くことができます。下校の時も、地いきの方や先生が見まもりをしてくれています。でも、五年生や六年生のおにいさん、おねえさんが一しょに下校しない時は、わたしたち一年生だけの下校になります。朝、いつもおかあさんが

「気をつけて行ってらっしゃい。」

と言います。わたしは、

「うん、行ってきます。」

とへんじをして学校に行きます。学校からかえったら元気に

「ただいま。」

と言います。かぞくがやわわく

「おかえり。」

と言ってくれます。

ある日の下校の時、おっだんぼどうで、左右を見てみると、一だい車ははしってきました。わたしたちは、「先に行ってください」と手で合図をしました。すると、車のうんてん手さんは、「お先にどうぞ」と合図をしてくれました。だからわたしたちは、うんてん手さんにおじきをして、手をあげておっだんぼどうをわたりました。家にかえって、おかあさんにその話をする

と、

「しんごうのないおっだんぼどうでは、ほ行しやがゆうせんだから、車のうんてん手さんもまってくれたんだね。」

と教えてくれました。そんなルールがあることをわたしは知りませんでした。そのルールがあることを知ってから、おかあさんが車をうんてんしているところを、かんさつするようにしました。すると、おかあさんがおっだんぼどうの前でとまりました。わたしは、よく見えなかったなので、何でとまったんだろうと思いました。じーっと見ていると、ベビーカーをおした人が、おっだんぼどうをわたりたそうにしていました。

「あつ、これだ。前におかあさんが教えてくれた、おっだんぼどうでは、ほ行しやゆうせんだ。」

わたしは、何だかつれしくなりました。わたしがあつだんぼどうをわたる時、「お先にどうぞ」としてもらってうれしかったし、はんたいにわたしが車にのっていて、「お先にどうぞ」とした時も、とてもうれしい気持ちになりました。

だれかがルールをまもればいい、車がルールをまもればいい、自分だけがよければいい、それじゃだめだと思いました。おっだんぼどうをわたる時だけじゃなくて、わたしたちも、車をうんてんする人も、一人一人がごうふうルールをまもれば、じこをなくせると思いました。

車は、いつでもとまってくれるわけじゃない。わたしもルールをまもって、おっだんぼどうでは車がきていないか、よくかくにんします。まい日元気に「ただいま。」

と家ぞくに言えるようにしたいです。

『後悔をなくすために』

前林中学校 2年 杉 本 咲 季

みなさんは交通事故と聞いて何を思いつかれますか？私はニュースなどでよく耳にする交通事故ですが今まではあまり身近に感じる事ができませんでした。

私は小学校を卒業し中学生になりました。中学生になると歩きではなく自転車に登校することになりました。家から学校までは遠く早く着きたいなどの自分の気持ちを優先してしまつたことがありました。ある日いつもより家をでる時間がおそく、焦っていた時曲がり角に対向してくる自転車に気づかずぶつかってしまいました。ヘルメットはしていたため命は無事でしたが、手や足をけがし痛めてしまいました。ぶつかってしまった相手にけがはなく安心しました。その後、友達と合流しけがの処置をしてくれました。親に連絡がつきおきてしまったことをすべて話しました。そうすると「交通事故はだれかをけがさせてしまったり亡くならせしてしまうこともある怖いことだからそのことを頭に入れて運転しないとだめだよ。でもいつでもおこりうることだから普段から注意して運転してね。」といわれました。そこで私は改めて交通事故は怖く身近なことだと気づきました。あとからおこってしまったことを振り返るとあの時ちゃんと止まって確認しておけばよかったやぶつかってしまった相手に申し訳ないなどの後悔と罪悪感だけが残りました。私はこれから本当に気をつけてのらなきやいけないと思います。自分は大丈夫でも相手やその周りの人にも迷惑をかけてしまうことを体験しもう二度とこのようなことはおきてほしくないしおこしたくないなと思いました。

私はけがをしただけですんだけど他の事故ではこんな例があります。駐車場の出入り口で大型トラックが自転車がいることに気づかずぶつ

かってしまった事故です。この事故では自転車を運転していた人はヘルメットをしていたけど命を失ってしまいました。この事故は今の私の中学校の生徒だった方の事故です。先生からその交通事故の話を聞いた時私はすごく衝撃をうけ今でも鮮明に覚えています。その話を聞いてからは本当に怖いことだと再認識し運転するようになりました。他にも信号は青だったけど急に車が飛び出してきてぶつかってしまった事故などがあります。自転車以外にも車両同士がぶつかってしまったりする事故がとても多いです。このような事故がおこる原因として多くあげられるのが安全不確認や脇見運転です。安全不確認は安全確認を怠ってしまうことが原因でおこってしまいます。脇見運転は携帯電話の操作をしていたりよそ見をしたことによっておこってしまいます。私も車にのり運転しながら携帯電話をさわっている人や自転車を運転しながらかさをさしていたりする人をよく見かけます。そう思うと事故に発展してしまうことをしている人は多いんだなと思いました。また交通事故で亡くなってしまう方は1日あたり約9・7%もいます。このようなことから交通事故は身近におこっていることだといえます。

私は今まで交通事故は自分にはあまり関係ないと思っていたけど自分にも意外に身近なことだと再認識することができました。また自分は大丈夫でも相手に被害を加えてしまうこともあるすぐ後悔の残る怖いことだと自分の体験を通して知ることができました。私はこれからこのような後悔が残らないように運転していきたいです。みなさんにも私のような後悔をなくすためにもよりいっそう注意して運転してほしいです。原因にもあげられていた安全不確認は曲がり角や対向者などをしっかり確認することが大切です。みなさんもこのようなことは忘れがちだと思うのでルールをしっかり守って思いやりのある運転を心がけていきましょう。

『交通安全』

豊田西高等学校 1年 富澤 郁心

私の住んでいる愛知県の交通事故発生件数は去年全国3位と交通事故が多く発生しています。また、高校生の自転車事故発生割合は最も多いです。私は交通事故に自分が遭う確率なんて少ないと思っていました。しかし、交通事故は誰にでも起こりうるものだと思っていました。

私が交通事故防止のために日頃から実践していることは5つあります。一つ目は交通安全への意識です。曲がる時、歩行者同士でぶつかってしまうことが多くあります。なので、私は曲がる時は特に注意をはらっています。また、自転車に乗る時はスピードを出しすぎないように意識しています。自転車は被害者になることも多くありますが、反対に加害者にもなります。だから、交通ルールを守った上で細心の注意を払う必要があります。

二つ目は時間に余裕を持って行動することです。運転する時に焦ってしまうと速度を出しすぎてしまつかもしれませんし、速度を出していかなくても時間に間に合つかどうか気になってしまつて、気持ちが落ち着かなくなり、集中力が低下してしまつて、危険を見逃してしまつ可能性があると思います。また、時間に余裕がない状態で運転をするとちょっとした渋滞や信号での停止で、焦りが強まってしまつたり、イライラしてしまつたりして平常心での運転が出来なくなつてしまひ大変危険です。私は歩行者のことが多いですが、歩行者でも同じように周りが見えなくなつてしまひます。なので、時間に余裕を持って行動できるよう意識しています。

三つ目はながらスマホです。ながらスマホは視線が前方の狭い範囲に集中し、上下左右に注意を配れなくなるため、信号や一時停止を見落とすことが多くなり、事故を招く恐れが極めて高くなります。ながらスマホだけでなく、何かしながら運転したり、歩いたりするのは危険です。私は、歩く時はナビを併用することが多くあります。そのような時は危険でない場所で一度止まり確認するなど日頃から気をつけています。

四つ目は明るくなる場所を選ぶことです。交通事故が最も起こりやすい時間帯17時、18時、19時の夕暮れ時で暗く、帰宅により交通量が多いです。電灯がなくて暗く細い道は歩行者を確認することが難しく、事故に遭いやすいです。そのような道なるべく避けて大通りの明るい場所を通るようにしています。また暗い場合、自動車から自分がいることを認識されなくて、事故に遭う場合が多いです。自転車の場合にはヘッドライトを、歩く場合はスマホのライトや懐中電灯をもつなど明るくして、認識されるように工夫しています。他にも調べてみると、反射材用品を用いることが効果的だそうです。反射材は、受けた光を光が来た方向に強く反射します。反射材用品には、靴や杖、足首、手首のバンド、たすきなど多くあります。これらも活用していきたいです。

五つ目は安全確認をすることです。横断歩道での左右の確認や標識をきちんとみることなど、他にも自転車のブレーキはきちんと動くかパンクはしていないかなど日頃から確認するようにしています。

交通事故での死亡はニュースの中だけだと思つていましたが、友達が帰りに事故が起きるのを間近で見た、人が飛んで亡くなつてしまつた場面を見たと言つていました。私はその時交通事故をとて身近に感じて、簡単に命を失つてしまつことがあるとても怖くなりました。

私は今回調べてみて、他にもたくさんの工夫があることを知りました。これから、車に乗るようになり、交通事故の確率が高くなります。常に注意をして自分の身を自分で守っていきたいです。

『横断歩道の意義とは』

足助中学校 3年 森岡 煌貴

皆さんは、信号のない横断歩道で待っているのに車が止まってくれなかった、という経験はないでしょうか？ ぼくにはあります。ある朝、友達との通学途中、車が来たので横断歩道の手前で止まりました。そしていつも通り車が止まってくれると思いついていました。しかし、その車は横断歩道に近づいても速度を落とす気配はなく、そのまま通り過ぎてしまいました。その時は一緒にいた友達と「あの車止まってくれなかったね。」「もう通報できちゃうね。」などと軽口を叩いていましたが、大体の車が止まってくれる地域に住んでいる僕にとつて、その光景は衝撃的でした。そして横断歩道で止まらない車を見ると、自分の地域から比較的離れたところのナンバーが多く、そのため、都会の人はあまり止まってくれないというイメージをもっています。都会は事故が多そうだなとも思います。横断歩道で歩行者がいたら待つてくれる車が増えたら、根本的に車と歩行者との交通事故が減るのではないかなと思いました。そこで全国の横断歩道停止率を調べてみました。

日本自動車連盟（JAF）の調査による、信号機のない横断歩道を歩行者が渡るうとした際に一時停止した車の割合が書かれたサイトを見ました。二〇一八年から二〇二〇年までの三年間の推移が、前年比（増減率）とともに都道府県別にランキングで紹介されています。一位の欄を見ると長野県で、七二・四％になっており、意外と高めだなと思いました。次に全国平均のところを見て衝撃を受けました。なんと停止率が二一・三％しかなかったからです。五台のうち約一台しか止まってくれない計算になります。僕の地域では朝通学している時には、大体の車が止まってくれて、時期によりますが、三週間に一台横断歩道で止まらな

い車に出会うくらいです。うちの地域では止まらない車は絶滅危惧種なのに全国的に見たら止まる車の方がレアなんだと初めて知りました。それから、歩行者と自動車の交通事故の発生件数を調べました。警察庁のサイトによると、平成二十九年から令和三年までの過去五年間で、自動車と歩行者が衝突した交通死亡事故は五〇五二件発生しており、約七割の三五八八件は歩行者が横断中の事故でした。また、横断中の事故のうち、約七割の二四〇六件が横断歩道以外の場所を横断している時に発生しており、その中の約七割では、走行中の自動車の直前直後を横断したりするなどの法令違反がありました。僕は親や学校の授業で横断歩道を使うように教えられて横断歩道を通るようにしていますが、横断歩道以外のところを通っている人がこんなにたくさんいるのかとびっくりしました。それを計算してみると横断中の人の約三分の二の人が横断歩道を使ってないという計算になりました。これを知って横断歩道の意味は「？」となりました。横断歩道を探してわざわざ渡るのがめんどくさいのは分かります。でも横断歩道を使わないと車の運転手に迷惑がかかってしまいます。事故になれば横断歩道を探す以上の手間になってしまうので、僕は横断歩道を探したほうがいいと思います。

そして、車が横断歩道で止まってくれたとき、車に対してお辞儀をする人はどれくらいいるでしょうか。法律では車が止まるのは当たり前なのですが、車側も止まってまた発進するので、ガソリンを余分に消費してしまつし、止まることで時間もかかってしまいます。デメリットがある中で止まってくれた車に対してお辞儀の一つや二つするのが当たり前だと僕は思います。

車は横断歩道で歩行者が待っていたら止まること、歩行者はちゃんと横断歩道を渡って、渡り終わったらお辞儀をすること。互いのために一人、また一人と増えていくことを願っています。

『おうだんぼどう』

石畳小学校 1年 八 木 奏 音

わたしは、がっこうへいくときと、いもつとをむかえにくときにおうだんぼどうをわたります。いつもおうだんぼどうをわたるときは、おかあさんやともだちとわたるので、ひとりでわたることはないけど、すごしときぎします。くるまのひとはわたしたちにきづいてくれているかな。よそみをしていないかな。とくとらつくのうんでんしゅさんは、せがたかいので、わたしたちにきづいていないかもしれません。なのでおうだんぼどうをわたるときはときぎしています。

おうだんぼどうをわたるときは、いちどとまってみぎひだりのかくにんをします。みぎ、ひだり、もついちどみぎをみてくるまよし。こえにだしてかくにんをします。そのとき、みみもすましてくるまのちかづいているおとがしなにかかくにんします。

さいごにぴんとてをあげてさっとわたります。わたりきると、ふう。あんぜんにわたれてよかったなーとあんしんします。

おうだんぼどうはくるまだけじゃなくてばいぐやじてんしゃもあるのでもきけんがいっぱいです。これからもしっかりとあんぜんかくにんをしてけがをしたり、じこにあわないようにきをつけたいです。



『交じつあんぜん』

根川小学校 2年 若 林 斗 真

ぼくは、こつこつあんぜんできをつけていることが三つあります。つうがくでおつだんぼどうをわたるときに、

一つ目は、おつだんぼどうのしんごうが青から赤にかわるときにめつしているときはむりしてわたらないことです。

トイレに行きたくなっても無理にわたりません。ちゃんとまちます。

二つ目は、おつだんぼどうのしんごうが赤から青にかわったすぐはかならず右左みてわたります。じゃないといきおいよくまがつてくる車もいるので気をつけてます。

三つ目は、ぼくのすんでいるところは、ちかくに大きな会社があり、じてん車も車も多いのでぶつからないようにとびだしにも気をつけてます。

ぼくがこつこつあんぜんで気をつけていること三つは、大人になってもかならず、守っていることとおもいます。

ぼくは、まだ、じてん車にのれないけど、こつこつルールを守って、ほこつしゃに気をつけながら、

「のりたいなあ。」
とおもっています。





優秀／鈴木 楓弓 (上鷹見小6年)



優秀／本藤 衣和華 (上鷹見小1年)



優秀／松本 実和子 (若林東小6年)



優秀／藤間 陽向 (浄水北小6年)



優秀／神谷 颯人 (朝日丘中1年)



優秀／水野 冬麗 (井上小6年)



優秀／鈴木 昊良里 (前林中2年)



優秀／石井 結衣 (浄水中2年)



優秀／宮川 万結 (豊田西高1年)



優秀／都築 蒼大 (井郷中3年)



優秀／松枝 幹子 (一般)



優秀／榎 由佳 (一般)



佳作／梅村 渉馬 (飯野小3年)



佳作／丸山 輝 (駒場小2年)



佳作／高橋 美由希 (竹村小3年)



佳作／丸山 葵羽 (駒場小4年)



佳作／澤田 匠真 (小清水小4年)



佳作／岩月 咲季（豊田西高1年）



佳作／坂本 健（浄水小6年）



佳作／相良 心菜（猿投農林高3年）



佳作／内藤 愛（豊田西高1年）

交通安全標語の部

最優秀作品

じてんしゃは おとなのひとも ヘルメット

根川小学校 3年 奥川 みのり

標
語

◎は優秀 ○は佳作

とまってくれてありがとう運動の推進

◎わたるまえ アイコンタクト ここにいるよ

加納小学校 4年 植田 崇矢

○わたれたよ にっこりえがおで ありがとう！

若林西小学校 1年 小野田 拓和

○わたりたい 気づいてくれて ありがとう

井上小学校 2年 服部 滯

子ども・高齢者の交通事故防止

◎とびだすな あっちに友だち 見つけても

加納小学校 2年 宮川 天武

○みにつけよう くらいよみちは ひかるもの

寿恵野小学校 2年 高田 心花

○反しゃざい あなたの命が 光ってる

根川小学校 6年 堀内 透真

自転車の安全利用促進

◎自転車も 「止まれ」の標識 守ろうね

高橋中学校 1年 森月 悠太

ドライバーの安全運転促進

◎運転手 あなたは命の 責任者

加納小学校

5年 中村 泰誠

交通安全全般

◎心と時間 ふたつの余裕が 事故防ぐ

浄水中学校

2年 市川 穂香

○点めつしんごう いけると思うな きけんだよ

加納小学校

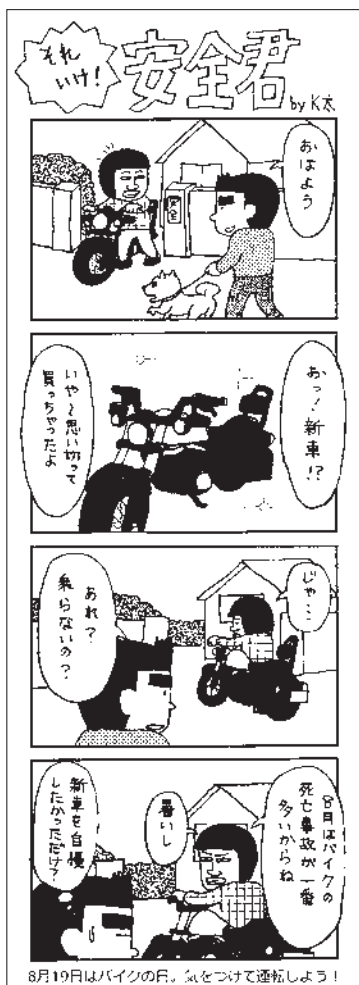
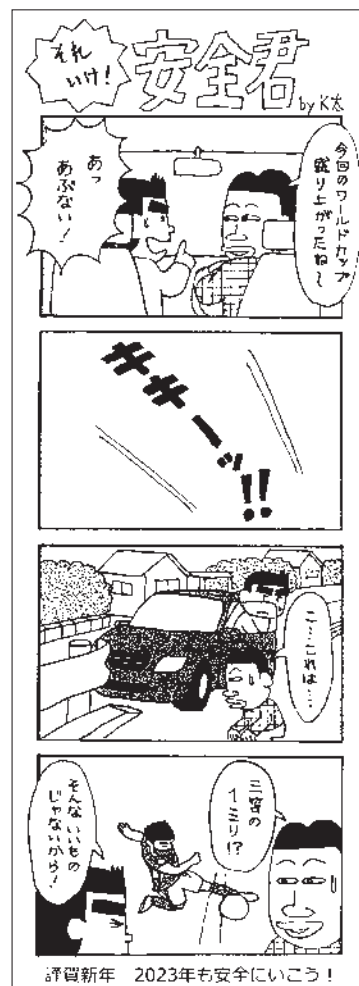
3年 谷岡 聖眞

○夕暮れは 悪魔の時間 危険予知

伊保小学校

6年 浅野 舜太





令和5年度 交通安全作品 応募・審査結果

交通安全作文の部

	応募数	最優秀	優 秀	佳 作
小学校（低）	5	3	0	0
小学校（高）	13	0	0	0
中 学 校	14	2	0	0
高校・一般	89	1	0	0
合 計	121	6	0	0

交通安全ポスターの部

	応募数	最優秀	優 秀	佳 作
小学校（低）	448	2	1	3
小学校（高）	303	1	4	3
中 学 校	277	3	4	0
高校・一般	145	0	3	3
合 計	1,173	6	12	9

交通安全標語の部

	応募数	最優秀	優 秀	佳 作
小学校（低）	755	1	1	4
小学校（高）	1,070	0	2	2
中 学 校	12	0	2	0
高校・一般	571	0	0	0
合 計	2,408	1	5	6

総計（作文・ポスター・標語）

	応募数	応募学校数
小学校（低）	1,208	54
小学校（高）	1,386	
中 学 校	303	19
高校・一般	805	2
合 計	3,702	75





豊田市交通安全
市民会議会長賞

岩井 心希
(井郷中3年)



足助警察
署長賞

鈴木 衣知花
(足助中3年)



豊田市
教育委員会賞

吉野 帆華
(梅坪小2年)

豊田市交通安全市民会議事務局
豊田市役所 交通安全防犯課内

〒471-8501 愛知県豊田市西町3-60
TEL:0565-34-6633 FAX:0565-32-3794
HP <https://signal.toyota.aichi.jp/>

